

競技に関する注意事項

西三河中学校春季陸上競技大会

1 コロナウイルス感染拡大防止対策

1. 今大会は無観客とし、競技場（スタンド）へ入場できるのは、各団体の陸上競技部代表、競技役員、選手のみとする。
2. ①本大会 1 週間前から今大会用の「大会前・提出用 体調管理表」を記入する。また、このチェックシートは大会後、1 ヶ月間、各自で保管するものとする。
②スタンド入場を希望する各団体の代表は、団体受付時に健康チェックシート提出用紙を提示し、リストバンドを受け取る。スタンドに入る際は係役員にリストバンドを提示し、入場すること。
③大会後の 2 週間についても「大会後、自己管理用 体調管理チェックシート」を記録する。
3. 競技場への入退場は、すべて別紙の選手の動線に従うこと。
4. 正面スタンドについては特に席を指定しないが、密を避けて座ること。
5. マスクを着用していない声を出しての応援は禁止する。
6. ウォーミングアップや自身の競技の最中以外はマスクを着用し、三密を避ける行動をする。
7. 必ず手洗いをを行い、消毒を実施し、新型コロナウイルス感染予防に努める。

2 競技会全般に関して

1. 本大会は 2023 年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。
本大会のスタート動作における競技規則は、国内適用を用いる。
2. 各団体代表者(学校については引率教員)は、競技の招集開始時刻までに団体受付を済ませておく(受付がない場合、競技者は競技に出場できない。場所は招集所と同様とする。)。
今大会について、選手が出場する日は必ず各団体代表者で団体受付を行うこと。
3. 招集所、招集時間について
 - (1) 招集所は、**1F 出入口付近**で行う。
 - (2) 招集時間は、タイムテーブルに記載されている時間とする。
種目、組により招集開始時刻・招集完了時刻が異なるため、必ず確認をすること。
 - (3) 招集が完了した後、スタート 10 分前にはスタート地点及び競技場所に集合すること。
 - (4) リレーのオーダー用紙は、招集完了 60 分前までに招集所に提出する。用紙は招集所に準備する。
4. ウォーミングアップについて
 - (1) 本競技場
本競技場でのウォーミングアップは競技に支障のない範囲で行ってよい(終日バックストレートの使用可)。朝のウォーミングアップについて、9時15分まで行ってよい。その際、ホームストレート8, 9レーンはハードルを設置するので、十分注意して練習すること。
また、リレー種目については、タイムテーブル記載の時間で競技場での練習を認める。
 - (2) ウォーミングアップ場 (**野球場**)
 - ・ 終了時刻は最終種目招集開始時刻までとする。
 - ・ 跳躍練習、投擲練習、スパイクを利用した練習は実施できない。
 - ・ 他人の怪我につながる可能性のある行為はしない。
5. 施設設備の使用について
今大会では競技終了後の清掃当番がないので、必ず持ち帰ること。近隣のゴミ箱等に捨てることはしな

い。

6. 写真及びビデオ撮影について

- (1) 個人及び保護者の了承がない撮影を禁止する。
- (2) 下記のエリアを撮影禁止とする。
 - ・各種目のスタート後方
 - ・跳躍種目の助走後方と着地前方
- (3) スターティングブロックの足合わせを行っている間や試技を待っている間、身体を動かしている間など競技の準備を行っているときは撮影禁止とする。
- (4) 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断する場合は、速やかに警察及び関係機関に連絡をする。

7. LIVE配信について

今大会はYouTubeによるライブ配信を行う。

3 競技に関して

1. アスリートビブス（ナンバーカード）について

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。ただし跳躍競技は、胸または背につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。

2. 競技について

- (1) トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。
- (2) 競技者の変更は一切認めない。
- (3) 使用器具は、原則として競技場備えつけのものを使用する。ただし、棒高跳のポールについては、各団体が準備したものを使用する。
- (4) 全天候走路なので、トラック・フィールド共スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・ジャベリックスローは12mm以下とする。いずれの場合も本数は11本以内とする。
(競技規則第143条2・3・4・5・6参照)
- (5) WA 規則第143条 (TR5.2:競技用靴) のルールを適用する。

種目	ソールの最大の厚さ	補足
800m未満のトラック種目	20mm	
800m以上のトラック種目	25mm	
フィールド種目 (三段跳除く)	20mm	競技者の前の部分の中心点のソールの厚さは、競技者のかかとの中心点のソールの厚さを越えてはならない。
三段跳	25mm	

規格外のシューズを使用して競技に出場した場合は、失格として取り扱う。また、招集所にて、靴の確認を行う場合がある。

- (6) 400mまでのトラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)で減速し止まること。
- (7) 「0+16」の種目は、予選記録の上位8名でA決勝、9番目～16番目の8名でB決勝を行う。
※いずれにおいても、A決勝進出者が決勝を棄権してもB決勝からA決勝への繰り上げは行わない。

(8)フィールド競技については以下の通り行う。

- ①長さを競う種目の試技は3回の試技後、ベスト8を選出し残り3回の試技を行う。前半の組で競技に参加した選手で、ベスト8に残る可能性のある選手は後半の組の結果が判明するまでスタンドで待機をする。フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ②走幅跳で助走路に使用できるマーカーは、主催者が用意したマーカー2個までとする。
- ③走高跳は2ピットを使用して行う。
- ④三段跳の踏切板は9mで行う。
- ⑤本大会では、コーチングエリアを設定しない。

(9)記録の掲示は1階招集所横で行う。または、記録速報ページで記録を確認すること。ただし、記録速報ページについて、競技会終了後1週間をめどに削除する。上位者のアナウンス発表は行う。

(10)競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則第144条で禁止されたビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持、または使用することができない。

(11)不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。

警告は黄色のカード、除外は赤色のカードを示すことによって競技者に知らされる。

3. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方（天候等の状況により変更することがある）

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	以降 3cm
女子走高跳	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	以降 2cm	
男子棒高跳	—	2m00	2m20	2m40	2m60	以降 10cm			
女子棒高跳	—	2m00	2m20	2m40	以降 10cm				

※男女棒高跳の練習の高さは定めず、選手の希望によって行う。

4. 表彰について

- (1) 各種目の1～3位には賞状を授与する。
- (2) A・B決勝を行う種目（100m・200m・ハードル・リレー）は、A決勝進出者のみの対象とする。
- (3) 本部前にて簡単な表彰式を行うため、入賞者は成績発表後、速やかに本部へ来ること。

4 その他

1. スタンドへの出入り口は2階スタンドに1か所設置する。開門時刻は7時30分とする。
2. 各団体の控え席や待機場所は、スタンド以外の競技場内に設置できない。
3. プログラム記載の氏名や所属等に訂正があれば、学校受付後、本部に申し出る。
4. 応急処置を必要とする事故が生じたときは、本部席において処置を行う。
なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
5. 貴重品は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。
6. 更衣室は女子のみ使用を許可する。その際、更衣のみに使用し、シャワーの使用は禁止する。
また荷物は置かないようにし、更衣後の荷物は各自で管理する。